第21回レファレンス協同データベース事業フォーラム　開催要項

１　趣旨及びテーマ

レファレンス協同データベース（以下「レファ協」という。）事業に関する意見交換の場を設け、参加館相互の連携協力等を促進するとともに、事業の更なる普及・発展に資するため、標記フォーラムを次のとおり開催します。

今回は「レファレンスサービスの今後―レファレンス協同データベースの20年―」をテーマとして、社会や情報源の変化が図書館やレファレンスサービスにもたらす影響についての識者による講演と、コーディネーターと登壇者によるフリートークにより、レファレンスサービスや本格事業化20年を迎えるレファ協の今後の在り方を考えます。

２　開催日時及び開催方法

令和8年3月2日（月）13時30分から16時10分まで

Web会議システム（Microsoft Teamsウェビナー）を使用してオンライン中継します。

３　参加対象・定員

レファ協事業及び本フォーラムに関心のある図書館員の方、その他一般の方。定員は設けません。

４　プログラム

時間	内容	登壇者(敬称略)
13:30～13:35	開会挨拶（5分）	国立国会図書館関西館長 諏訪 康子
13:35～13:40	趣旨説明（5分）	国立国会図書館関西館図書館協力課課長補佐 井家 展明
13:40～14:10	講演1（30分）「レファレンスサービスの現在とこれから」	帝京平成大学人文社会学部准教授 間部 豊
14:10～14:30	講演2（20分）「変わりつつあるレファレンス情報源の未来を皆で考える」	東洋大学文学部准教授 杉江 典子
14:30～14:50	講演3（20分）「大学図書館における情報リテラシー教育の展開と動向」	九州大学附属図書館研究開発室准教授 渡邊 由紀子
14:50～15:00	事務局報告(10分)	国立国会図書館関西館 図書館協力課協力ネットワーク係
15:00～15:15	休憩（15分）	
15:15～16:05	フリートーク（50分）	登壇者：間部 豊 杉江 典子 渡邊 由紀子 伊藤 民雄（実践女子大学図書館事務部次長） 田子 環（神奈川県立厚木清南高等学校司書、レファ協事業企画協力員） コーディネーター：上岡 真紀子（帝京大学共通教育センター教授）
16:05～16:10	閉会挨拶（5分）	国立国会図書館関西館図書館協力課長 渡邉 斉志

※フォーラム終了後、参加者同士の交流を図るため、30分程度の交流会を行います。

５　報告内容等の利用について

登壇者から録画配信の了承が得られたプログラムについては、後日、YouTube当館公式チャンネルで動画を公開します。また、記録を作成し、レファ協事業ホームページに掲載します。